取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

資料１

|  |  |
| --- | --- |
| タイトル | 自立支援・介護予防・重度化防止 |

|  |
| --- |
| 現状と課題 |
| 第８期の介護保険料は全道一を返上したものの依然として高い位置にある。  　令和３年１１月末時点の要介護（要支援）認定者の認定率は１７．７％で、全道及び全国の平均を下回っているが、令和３年度（令和３年９月サービス提供分まで）の第１号被保険者１人１か月あたりの介護費用は３１，２３１．４円と、令和２年度とほぼ同水準で、全道及び全国の平均を大きく上回っている。 |
| 第８期における具体的な取組 |
| 介護給付費を抑制するための介護予防の取り組みとして介護予防教室を実施するほか、  集いの場、通いの場づくりのきっかけとして活躍するふまねっと運動のサポーターの養成、地域サロンの開設支援、介護予防に関する普及啓発として老人クラブに対し出張介護予防教室を実施する。 |
| 目標（事業内容、指標等） |
| 介護保険を利用し始める年齢を遅らせるとともに、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域や自宅で過ごすことができるよう、住民主体の介護予防事業実施を図る。  ○介護予防教室の実施回数、延べ参加者数：現状を維持  ○ふまネットサポーター数：R3　25名、　R4　28名、　R5　30名  ○地域サロン開設箇所数：　R3　2か所、 R4　4か所、 R5　6か所  ○老人クラブ出張介護予防教室回数：１老人クラブ１回 |
| 目標の評価方法 |
| * 時点   □中間見直しあり  ☑実績評価のみ   * 評価の方法   　毎年度、愛別町高齢者福祉計画・愛別町介護保険事業計画策定委員会にて、給付実績などの進捗管理を行う。 |